

# 京都ジュニアカップ適用ルール（男子）

- 1, 大会の級を5級から10級にわけ、選手はこのうちの1つのクラスにエントリーできる。
- 2, 級は年齢に関与せず参加できる。
- 3, 6級の表彰については年齢、参加者数に応じて2部門に分けることがある。  
但し、開催年によって参加者数に変動があるためエントリー終了後、年齢の区切り方を検討し、抽選会後に発表する。（例 4年生以下、5年生以上）

<b>5 級</b>	【全種目】	技 点	4. 0 0
		実 施	5. 4 0
		加 点	0. 6 0
		合 計	1 0. 0 0

- 【加 点】
- ・きれいな演技
  - ・リズム感のある演技
  - ・卓越した跳躍
  - ・安定した着地など

## ゆ か (対角線の往復で演技を行う)

1 コース (配点 0. 8 0)

助走⇒側転2回連続  
(各0. 4)

2 コース (配点 2. 6 0)

倒立前転⇒前転左右開脚座胸つけ⇒両足を後ろでそろえて正面支持臥⇒腰を上げ両足立ち  
(0. 5) (0. 5)

⇒ツーステップ・リープジャンプ⇒足をそろえてから後転⇒正面水平立ち (2秒静止)  
(各0. 3) (0. 5) (0. 5)

3 コース (配点 0. 6 0)

助走⇒ロンダートジャンプもしくは転回  
(0. 6)

## とび箱 (横向き 5段) 3助走2演技

開脚とび (4. 0)

## 鉄 棒 (高さ マット上200cm)

(配点 4. 0 0)

懸垂逆上がり⇒前方支持回転⇒後方支持回転⇒足裏支持回転降り  
(1. 0) (1. 0) (1. 0) (1. 0)

※懸垂逆上がりができない選手は補助可 (但し減点あり)

## 6 級 ゆか、鉄棒の同一難度の繰り返しは2回まで認める。 A難度のみで構成 (難度表にない技にもAの価値を与える。)

### ゆ か ◎A難度の技で8要素で構成する。

1要素につき 0. 3

◎要求  $0. 5 \times 5 = 2. 5$

1、バランス技 2、柔軟 3、倒立 4、前方系 5、後方系  
(4・5では前転や後転でも補える)

◎演技時間 70秒以内

### 円 馬 ◎円馬で5周

$1. 0 \times 5 \text{周} = 5. 0$

### 跳 馬 ◎高さ100cm 中型跳び箱縦

◎3助走2演技で行い、点数の良い方を得点とする。

台上前転 3. 5 開脚・閉脚とび 4. 0

転回とび 5. 0

### 鉄 棒 ◎A難度の技で6要素で構成する。

1要素につき 0. 3

◎要求  $1. 0 \times 3 = 3. 0$

1、前方系 2、後方系 3、終末技

## 7 級 府民総体ルール

## 8 級 近畿ジュニアCクラス規則

## 9 級 近畿ジュニアBクラス規則

## 10 級 近畿ジュニアAクラス規則

このルールは2008年4月1日から適用し、京都ジュニアカップの主催する大会でのみ適用とす